

5分前着席黙祷をこころがけましょう

司式 熊田雄二牧師

前 奏

奏楽 浅池慶子姉妹

開 会 招 詞

* 賛 美 歌 4 : 1 あめつちにまさる

天地にまさる神の御名を ほむるに足るべき心もがな アーメン

* 開 会 祈 禱

罪 の 告 白 祈 禱 書 2 (詩編51編)

神よ、わたしを憐れんでください。御慈しみをもって。深い御憐れみをもって、背きの罪をぬぐい去ってください。わたしの咎をことごとく洗い、罪から清めてください。わたしは咎のうちに産み落とされ、母がわたしを身ごもったときも、わたしは罪のうちにあったのです。

わたしを洗ってください。雪よりも白くなるように。神よ、わたしの内に清い心を創造し、新しく確かな霊をさずけてください。救いの喜びを再びわたしに味わわせ、自由の霊によって支えてください。主よ、わたしの唇を開いてください。この口は、あなたの賛美を歌います。主イエス・キリストの御名によって。アーメン。

罪の赦しの宣言

十 戒 祈 禱 書 4

1. あなたは、わたしのほかに、何者をも神としてはならない。
 2. あなたは自分のために刻んだ像を造ってはならない。それにひれ伏してはならない。それに仕えてはならない。
 3. あなたは、あなたの神、主の名を、みだりに唱えてはならない。主は、み名をみだりに唱える者を、罰つしないではおかない。
 4. 安息日をおぼえて、これを聖とせよ。
 5. あなたの父と母を敬え。
 6. あなたは殺してはならない。
 7. あなたは姦淫してはならない。
 8. あなたは盗んではならない。
 9. あなたは隣人について偽証してはならない。
 10. あなたは隣人の家をむさぼってはならない。隣人の妻、またすべて隣人のものをむさぼってはならない。
- (出エジプト20、申命記5)

* 賛 美 歌 74 : 1 主の道歩まん

わが主に赦され心安らぎ 新しき力心に満ちて

主の道歩まん 主の道 アーメン

天と地と海と、その中の全てのものをお造りになった、活けるまことの神さま、かつて、あなたは、大洪水によって罪に陥った人類を滅ぼし、ノアによって用意された箱舟に乗った者だけを救われました。

今、あなたは、教会で救い主キリストを信じる者が、洗礼の水によってキリストと共に葬られ、キリストと共によみがえる約束を与えてくださることを心から感謝します。

仲保者キリストは、大洪水ののちに現れた、約束の虹のように、天地を結び、あなたとわたしたちとを結ぶ、救いの架け橋となってくださったことを心から喜び、御名を賛美します。（創世記6～9、Iペトロ3、ローマ6、「聖書」一）

献 金 (黒) 教会活動 (赤) 中高生キャンプ (オンライン) 70

今ささぐるそなえものを 主よ きよめて うけたまえ アーメン

聖書朗読 三ハネ福音書 6章52-59節 (新約聖書176頁)

説教・祈祷 礼拝は生命⑩「教会最大の祭」 熊田雄二牧師

* 賛美歌 26:1こひつじをば

子羊をばほめたたうる 妙なるものの音あめに聞こゆ

いざ御民よ恵みの主に 栄えの冠を ささげまつれ アーメン

* 主の祈り 祈祷書1

天にまします我らの父よ

願わくは御名をあげさせたまえ

御国を来たらせたまえ 御心の天になるごとく 地にもなさせたまえ

我らの日用の糧を 今日も与えたまえ

我らに罪を犯す者を我らが許すごとく 我らの罪をも許したまえ

我らを試みに会わせず 悪より救い出したまえ

国と力と栄えとは 限りなく汝のものなればなり アーメン。

* 頌 栄 66世をこぞりて

世をこぞりてほめたたえよ 御栄え尽きせぬあまつ神を アーメン

* 祝 禱

後 奏 (黙禱)

報 告

門脇陽子長老

I 祭儀と祝儀(しゅうぎ)

伝道開始や教会設立など記念日は教会のお祭りです。この世のお祭は、カレンダーで「祝日・祭日」となっている日を中心に連休が多いので、マーケット戦略によって、それなりに楽しいプログラムが用意されます。しかし、クリスチャンは、教会のお祭が最高なのです。

祭は、本来、祭儀という儀式と、祝儀というお祝いのセレモニーから成っています。マーケット戦略に乗ったこの世のお祭は、厳かな宗教儀式の部分には関心を持ちません。レジャーになって、お祝いセレモニーがお祭り騒ぎになりやすい傾向があります。

キリスト教が元になっているのは、カレンダー順にバレンタイン、イースター、ハロウィン、クリスマスですが、警察がお出ましになることもあります。

バレンタイン。2月14日は、昔ローマ帝国で、愛と結婚の女神の祭日だったそう。伝説はいろいろあるらしいが、とにかく、まだローマ帝国の迫害を受けていた時代、バレンタインという司祭がいたそう。その頃のローマ皇帝で、兵士の士気が下がるから結婚を禁止したという皇帝がいたそう。しかし、バレンタイン司祭は、かわいそうに思って兵士たちに結婚式をしてあげたそう。そして皇帝に逆らった罪で死刑になったそう。かくして、殉教者、聖バレンタインとなったそう。

それが、欧米のカトリック教会で重要な聖人となった形跡はありません。1960年代の第二バチカン公会議では、根拠なしとして、聖バレンティヌスの祝祭日は教会歴から外されました。それがなぜか、日本では1970年代の高度経済成長期に聖バレンタインデーとなって、女性が男性にチョコレートを贈る日になりました。次第にエスカレートして、女性にも男性にもハラスメントになるケースがあるそうです。

イースター。クリスマスについて、これまた違和感のある現象です。スーパーで大きく宣伝するようになったのは最近のような気がします。

ハロウィン。これが問題の騒ぎになるタイプです。起源や由来の話はもういいでしょう。悪魔祓いのために仮装するのだそう。

クリスマス。これがいちばん警戒しなければならない世俗化です。

もっとも、これらの祭は、欧米ですでに世俗化されたものが日本に入り込んでいるのですが、なぜか日本では欧米以上に騒ぐ傾向にあります。

II 教会最大の祭 聖餐式

さて、聖餐式は、祭儀中の祭儀です。教会最高のお祭、最大のお祭です。キリストと十二弟子の最後の晩餐は、ユダヤ人の過ぎ越し祭の晩餐会でした。ユダヤ教の最大のお祭ですが、年に一度です。今、教会は、最後の晩餐当日に当たる受難日礼拝でも聖餐式を行なうところがありますが、多くの教会は毎月第一主の日に行ないません。上福岡教会は両方行なうので年に13回行なっています。訪問聖餐式も行なっています。

聖餐式が教会最大の祭であるのは当然です。パンとぶどう酒を、キリストの肉を食べ、キリストの血を飲むという、生々しい表現でキリストをいただくのです。これ以上の祭儀はありません。また聖餐式は、キリストが信徒の中で生きておられることを覚える祭です。さらに、キリストの体なる教会がキリスト中心に活動することを覚える祭で

す。

礼拝指針第七十九条（聖餐式の結び） 配餐がすべて終わったとき、感謝の祈りをささげる。その後、詩編歌または賛美歌を歌い、聖餐式を終えてもよい。

上福岡教会の朝拝では、感謝の祈りはずいぶん長い間執事がささげることになっています。夕拝では出席した信徒の中から選びます。

杯回収の時の讃美は三つ用意しました。主の十字架を深く思う「我が主よ今ここに」、主の復活と再臨を思う「主の食卓を囲み」、感謝して主の僕として生きることを誓う「天よりの主イエス」。それぞれの思いにはふさわしいテンポもあります。

Ⅲ ヨハネ6章1～59節 朗読

五千人にパンを食べさせる奇跡の中に、すでに聖餐式の仕草があるのが分かります。11節「感謝の祈りを唱え・・・」。五千人にパンを食べさせる奇跡は、イエスが命のパンであるという説教を伴っていました：33-35節。そして、この説教からユダヤ人の間に議論が起こったのです：41-42節、52節。

これに対して主イエスが言われたのが、制定の御言葉の箇所です。53-58節。きょうは、パンの奇跡から始まった6章1～59節を読んで、聖餐式制定の御言葉が持つ永遠の命を味わいましょう。感染予防で聖餐式を行なえない中で、聖餐式の本質であるキリストの言葉を味わいましょう。少し長いですが、聖書朗読・聖餐式夕拝の分も味わいましょう。